

WEB基礎演習

第5回

2020年10月23日(金)

- ・ソーシャルディスタンスを保とう(できるだけ1席ずつあける)
- ・必携PCを使いましょう
- ・もし忘れた場合→181教室でのログイン
 - 2限のユーザ名: WebPro4_1kumi
 - 3限のユーザ名: WebPro4_2kumi
 - パスワード: kudo

Today's Agenda

本日の内容

- 第2回小テスト: WEB技術の基本用語2
 - 課題2のアップロード
 - CSSの基本(Webページを装飾する)
 - CSSとは
 - CSSを適用する3つの形式
 - 形式1: style属性でその要素にだけ適用
 - 形式2: <style>タグでそのHTML文書全体に適用 / CSSの基本書式
 - 形式3: スタイルシートを書いた別ファイル(.css)を作る
-

第2回小テスト
-WEB技術の基本用語 2-

課題 2 のアップロード

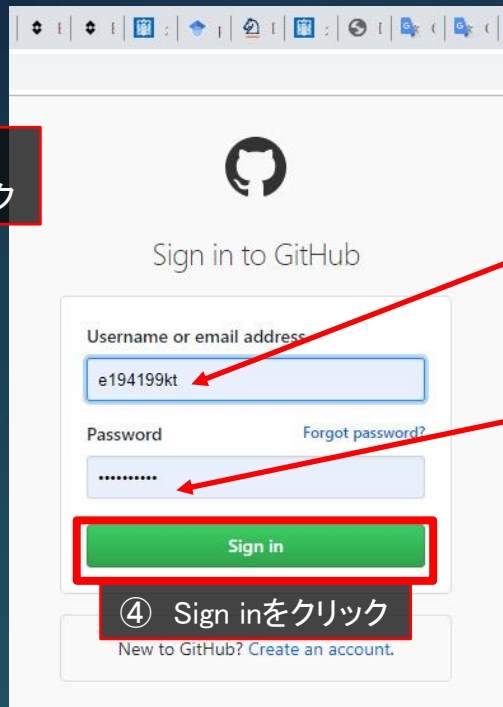
1) GitHubでログイン⇒リポジトリ選択

a) まずはgithubのサイトに行って[学籍番号の文字列]でログイン

① トップページで
右上のサインイン(Sign in)をクリック



② Usernameに[学籍番号の文字列]
(メールアドレスの@の前の文字)を入れる



③ Passwordはwebbasic2020

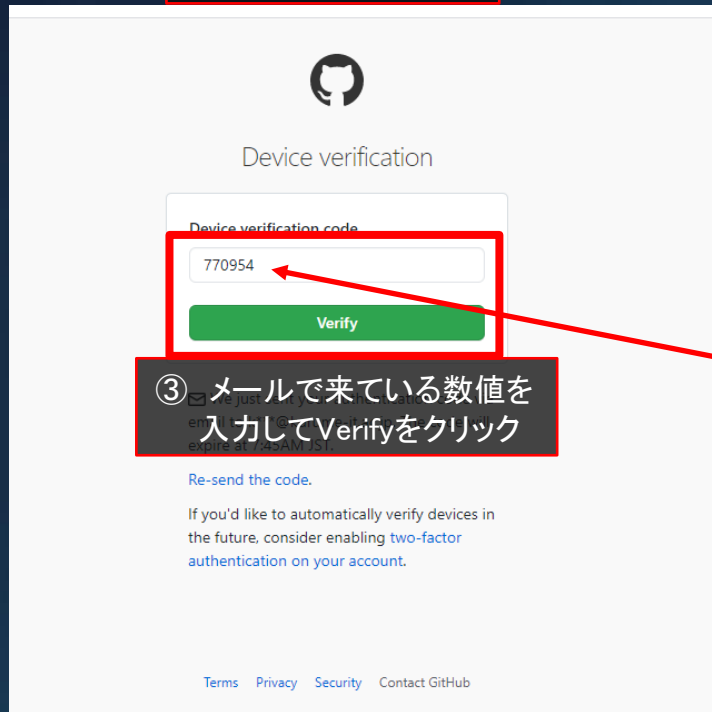
④ Sign inをクリック

New to GitHub? [Create an account.](#)

1) GitHubでログイン⇒リポジトリ選択

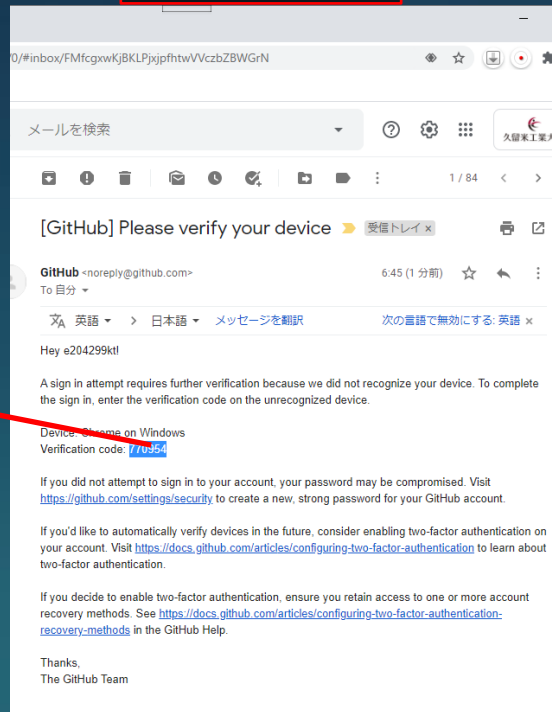
b) 2段階認証コードを求められたら、メールで来ている数値を入力

① こんな画面が出る



③ メールで来ている数値を入力してVerifyをクリック

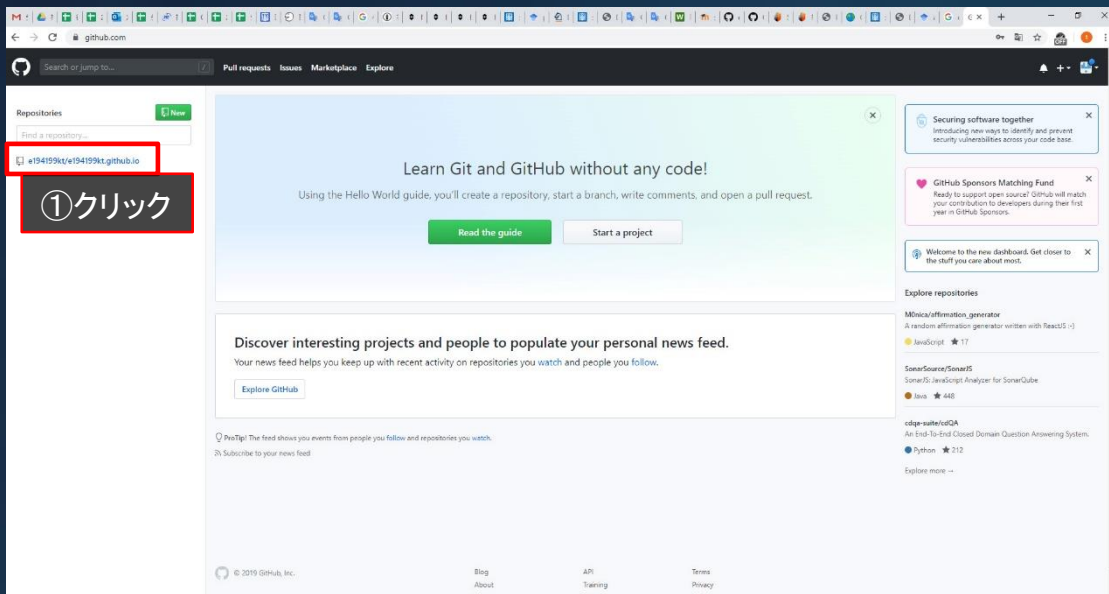
② メールチェック



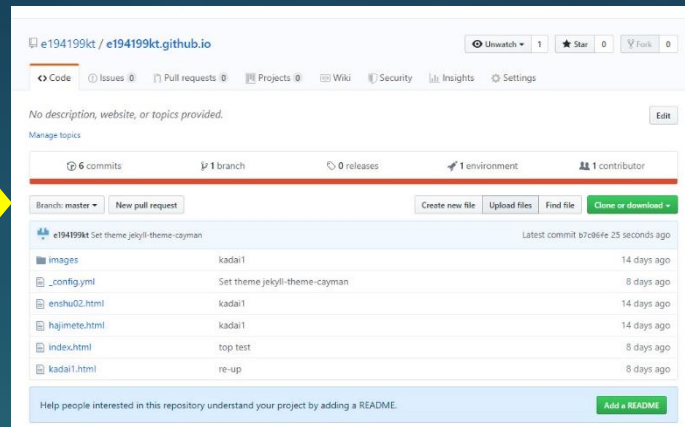
1) GitHubでログイン⇒リポジトリ選択

b) [学籍番号文字列].github.io リポジトリ (Github Pages用) を選択

ユーザトップページ



②リポジトリのファイル閲覧ページへ



3) ファイルのアップロード(単純な方法)

a) File Uploadボタンを押し、アップロード画面へ

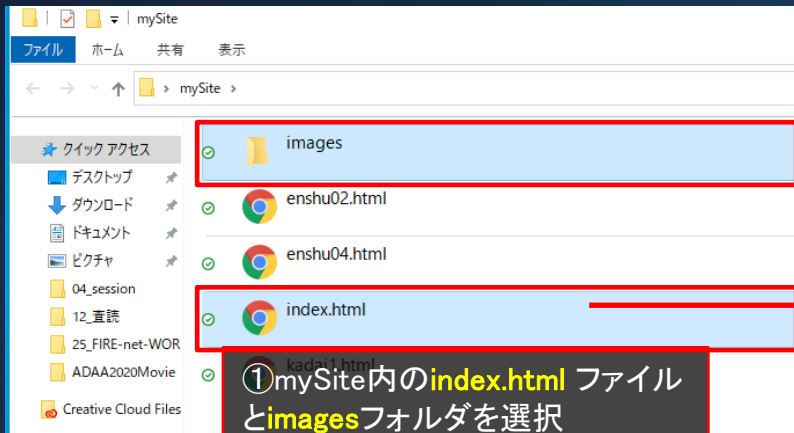
The screenshot shows the GitHub repository interface for 'e204299kt'. The 'Code' button in the top navigation bar is highlighted with a red box and labeled '①Codeをクリック'. The 'Add file' dropdown menu is open, and the 'Upload files' option is highlighted with a red box and labeled '②Add file > Upload filesをクリックしてアップロード画面へ'. The repository content shows a commit 'e204299kt Set theme jekyll-theme-cayman' with files 'images', '_config.yml', and 'kadai1.html'. The 'Add a README' button is also visible.

①Codeをクリック

②Add file > Upload filesをクリックしてアップロード画面へ

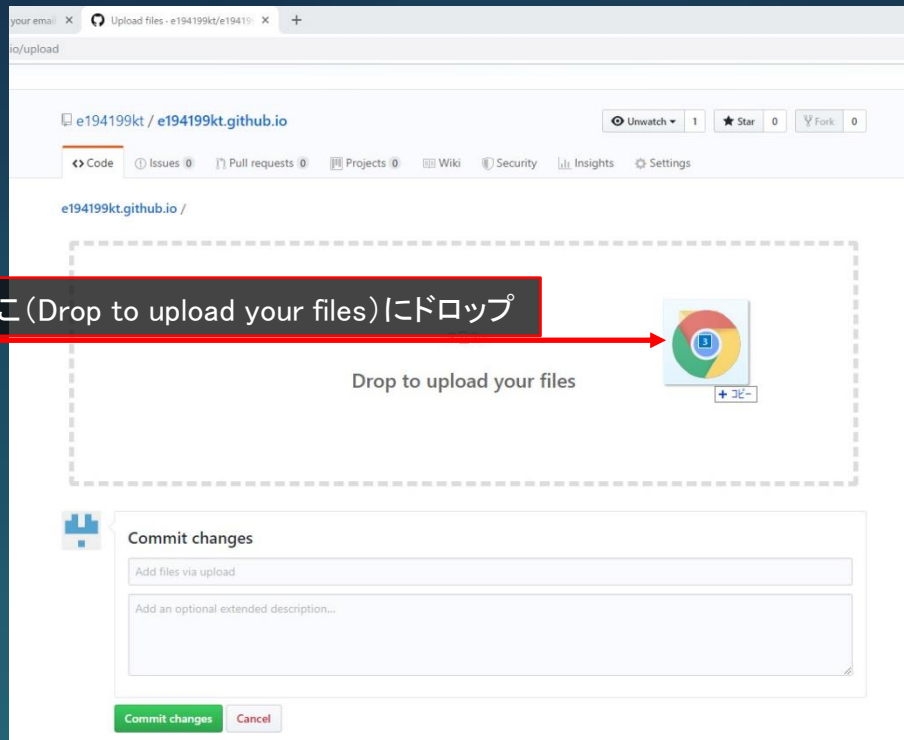
3) ファイルのアップロード(単純な方法)

b) mySite内の全てのファイル・フォルダ選択⇒ドロップ



① mySite内のindex.html ファイル
とimagesフォルダを選択
(Ctrlキーを押しながら複数選択)

imagesフォルダの中の
ファイルをばらばらに
ドロップしないように一気に



3) ファイルのアップロード(単純な方法)

c) コメントを書いて **Commit changes** でアップロード完了

The screenshot shows the GitHub repository page for `e194199kt / e194199kt.github.io`. The repository is currently empty. A red box highlights the text "Drag additional files here to add them to your repository" and "Or choose your files". Below this, a list of files to be uploaded is shown: `kadai1.html` and `/images/01.jpg`. A red box highlights the "Commit changes" button. Another red box highlights the text "課題1のアップ" (Upload of Lesson 1) in the commit message field. A third red box highlights the text "①アップロード予定のファイルが表示" (Files to be uploaded are displayed). A fourth red box highlights the text "②コメント(任意)" (Optional comment). A fifth red box highlights the text "③クリック" (Click).

①アップロード予定のファイルが表示

②コメント(任意)

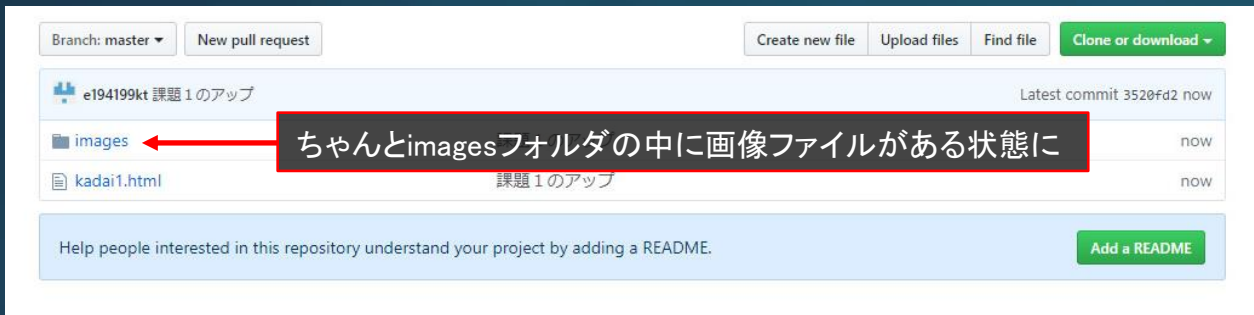
③クリック

The screenshot shows the GitHub repository page for `e194199kt / e194199kt.github.io` after the upload. The repository now contains a commit with the message "課題1のアップ" (Upload of Lesson 1). The commit details show the files `images` and `kadai1.html` were added. A red box highlights the text "④アップロード完" (Upload complete). Another red box highlights the text "課題1のアップ" (Upload of Lesson 1) in the commit message field. A third red box highlights the text "Add a README" button.

④アップロード完

3補足) 必要なものだけアップロードもできる

- 課題に必要なファイルだけアップロードすることもできる
課題2の場合: `index.html` と 画像ファイル
- ただし、必ず `mySite` と同じ階層構造になるようにアップしよう
例: 画像ファイルは、GitHub上でも `images` フォルダの中に入ってから
Upload Filesをクリックしてアップロードする



4) 表示の確認 ([https://\[学籍番号文字列\].github.io/](https://[学籍番号文字列].github.io/))

- ・ 表示の確認は、必ずしておこう

課題2のURL

<https://e○○○.github.io/>

今回トップページなので
ファイル名が必要ない

自分のGitHubアカウント名
(e学籍番号+2文字)



- 1) ちゃんとページが出るか
- 2) リンクは正しく動いているか

確認

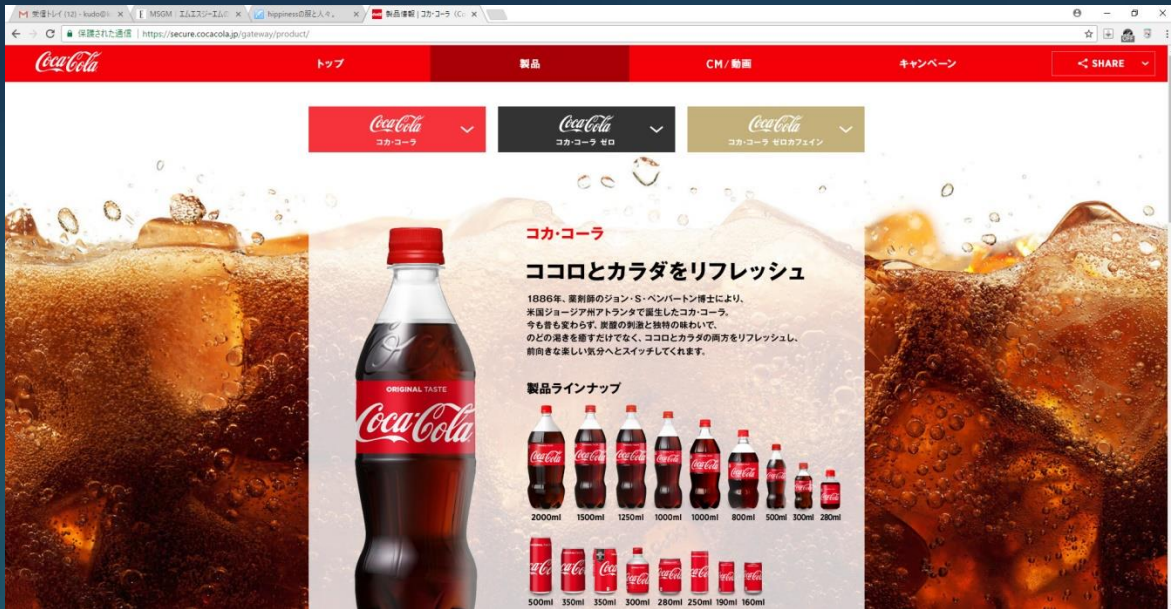
CSSとは

HTMLだけでは何かが足りない

皆が作れるWebページ



コカ・コーラのWebページ



装飾が足りない！



文字色、背景色、背景画像、
要素の配置などをもっと作り込みたい

CSS

- Cascading Style Sheetsの略
- Webページのスタイルを指定するための言語
(色や大きさ、配置などの装飾のこと)

or この言語で書かれた文書ファイル自身

- 単純にスタイルシートと呼ばれることが多い
- これを用いればHTML文書はそのまま、様々な見た目に変えられる

スタイルシート

```
セクタ  
p {  
  color: #F80206;  
}  
プロパティ 値
```

例えばCSSで何が出来る？

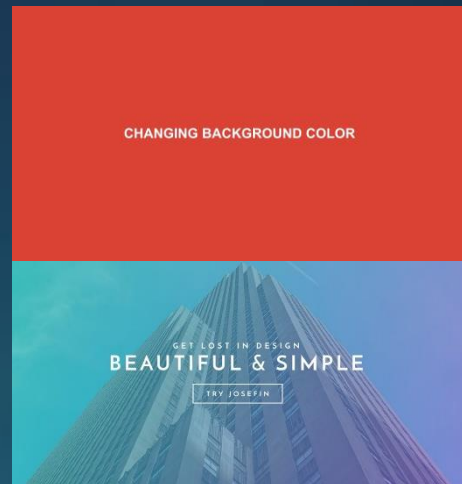
<文字の装飾>

- ・サイズ
- ・フォント
- ・色

フォントを変更する
フォントを変更する
フォントを変更する
フォントを変更する
フォントを変更する
フォントを変更する

<背景の装飾>

- ・色
- ・背景画像



<配置のコントロール>

- ・要素(例えばtableによる表)を
ページ内でどう配置するか



...etc

CSSを適用する 3 つの方法

CSSの適用法は3種類

1) タグにstyle属性を追加する
→ その要素だけに直接適用

2) HTML文書のhead内にstyleタグを書く
→ そのHTMLファイルに適用

3) 手順1. CSSだけの別ファイル(.css) を作る
手順2. head内でlinkタグを使って読み込む
→ どのHTMLファイルにも読み込める(装飾を使いまわせる)

↑ この3番目の形式が一番使われる

さっそく1つずつ体験していこう

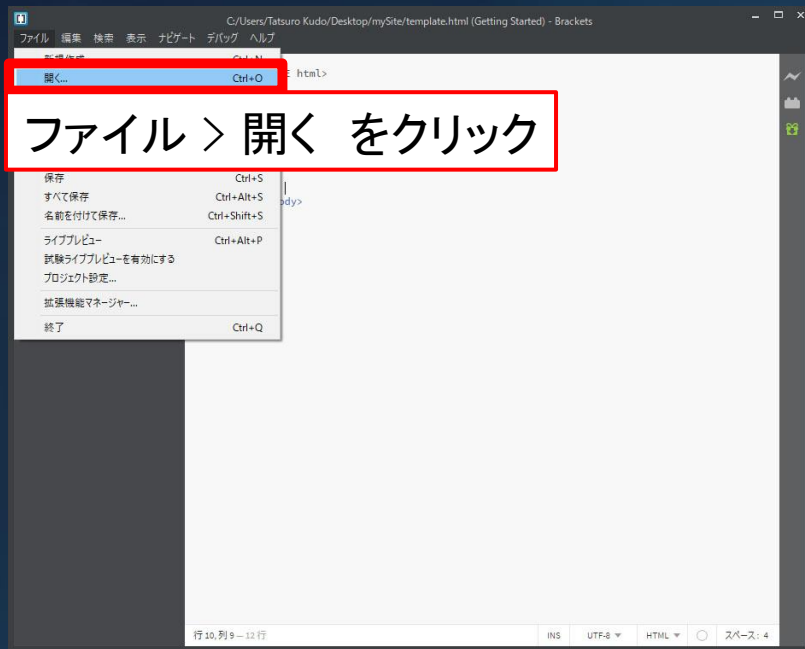
Brackets



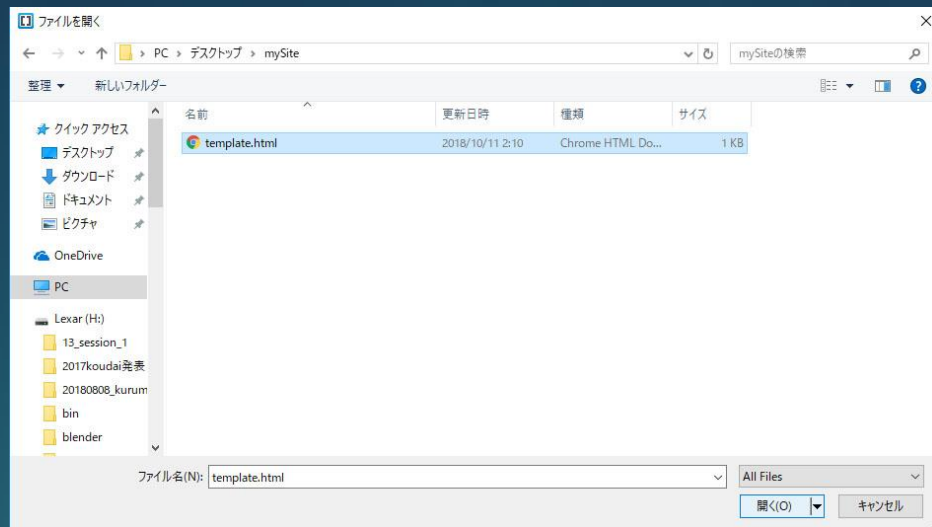
左下のスタートメニュー(あればショートカット)から起動しよう

演習用ファイルを3つ作ろう

1. index.htmlなど(この授業で作ったhtmlファイル)を開く



デスクトップ > mySite > 「index.html」を選択 > 開く



演習用ファイルを3つ作ろう

2. ベースとなるhtml文書の作成(body部分を以下のようにしよう)

```
<body>
  <h1>見出し1</h1>
  <p>
    あいうえお
  </p>

  <h1>見出し2</h1>
  <p>
    かきくけこ
  </p>
</body>
```

3. 別の名前の3つのhtmlファイルとして保存

「enshu05_direct.html」「enshu05_head.html」「enshu05_load.html」という3つの名前でデスクトップ > mySite 内に保存(名前をつけて保存を3回)

1. あるタグ要素に直接適用する

編集ファイル

enshu05_direct.html

1. タグ要素に直接適用する

- 開始タグにstyle属性を追加して、その要素にだけ適用する

書式 : <タグ名 style=" プロパティ : 値 ; " > 内容 </タグ名>

例1 (pタグに文字色を赤にする装飾を施す) :

```
<p style="color:red;"> あいうえお </p>
```

例2 (pタグに複数のプロパティを設定する. 太字の追加) :

```
<p style="color:red;font-weight:bold;">
```

「プロパティ:値;」を並べて書く

2. あるHTMLの全体に適用する

編集ファイル

enshu05_head.html

2. そのHTML全体に適用する

- head内にstyleタグを書き、HTML文書単位で適用する

書式 (*headタグの内部に書く*) :

```
<style>
```

```
  セレクタ {  
    プロパティ: 値;  
  }
```

```
</style>
```

これがCSS言語の基本形式
(しっかり押さえよう)

CSS言語の基本形式

スタイルの適用先

セレクタ {

プロパティ : **値** ;

設定する項目名

設定値

}

例:

p {

color : **red** ;

}



pタグの**文字色**を**赤**に装飾する の意味

2. そのHTML全体に適用する

- head内にstyleタグを書き、HTML文書単位で適用する

例1 (pタグに赤文字スタイルを適用) :

```
<style>
    p {
        color: red;
    }
</style>
```

先ほどと違い、
全てのpタグ要素に
適用される

2. そのHTML全体に適用する

- head内に**styleタグ**を書き、**HTML文書単位で適用**する

例2 (pタグに**複数のスタイルを適用**。太字追加) :

```
<style>
```

```
  p {
```

```
    color:red;
```

```
    font-weight : bold;
```

```
  }
```

```
</style>
```

「プロパティ:値;」を並べて書く

1)の””の中身は、
この部分を書いて
いた

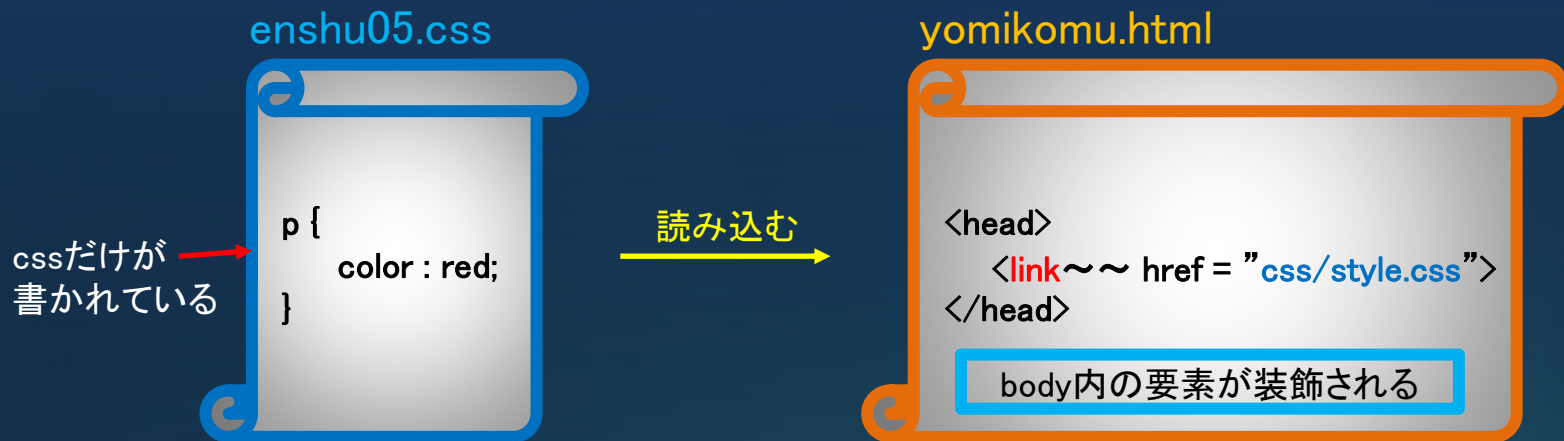
3. CSSだけを書いた別ファイルを読み込む

編集ファイル

enshu05_load.html

1 番使うCSSのHTML適用方法である

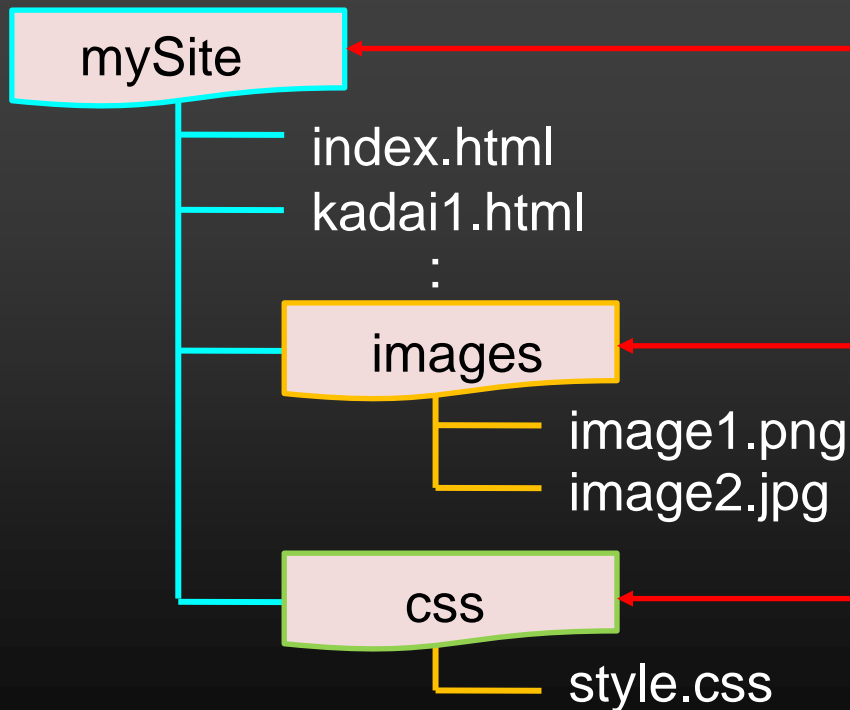
CSSだけを書いた別ファイル – 拡張子は.css – を作り、
linkタグで読み込む



今後の授業では、**基本的にこの方法を使います**

まず、cssフォルダを作ろう

この授業のフォルダ構造



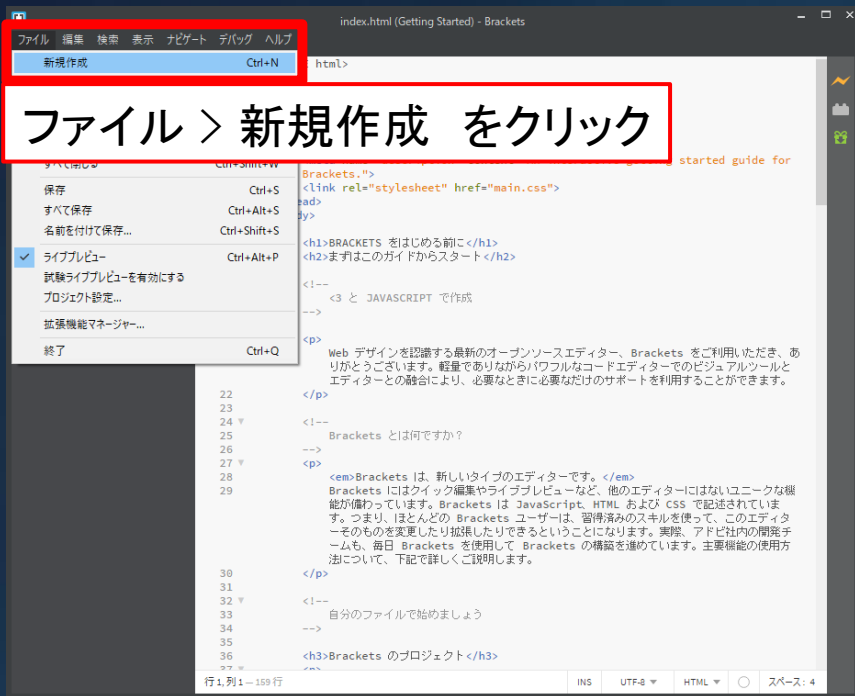
htmlファイルはこの直下に入れる

画像ファイルを入れるフォルダ

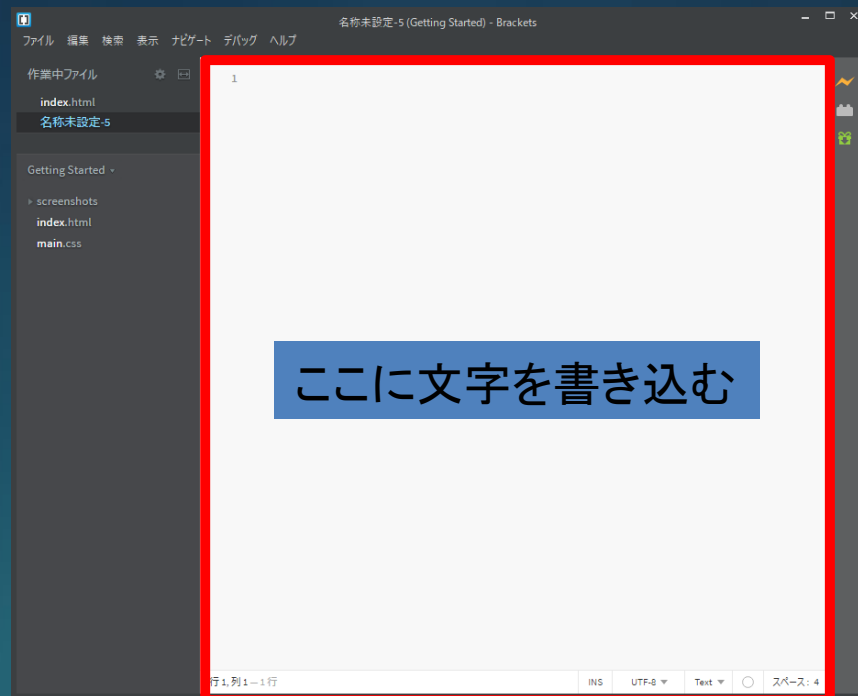
cssファイルを入れるフォルダ
「css」を新規追加しよう

次に、演習用のCSSファイルを作ろう

1. 編集ファイルの新規作成



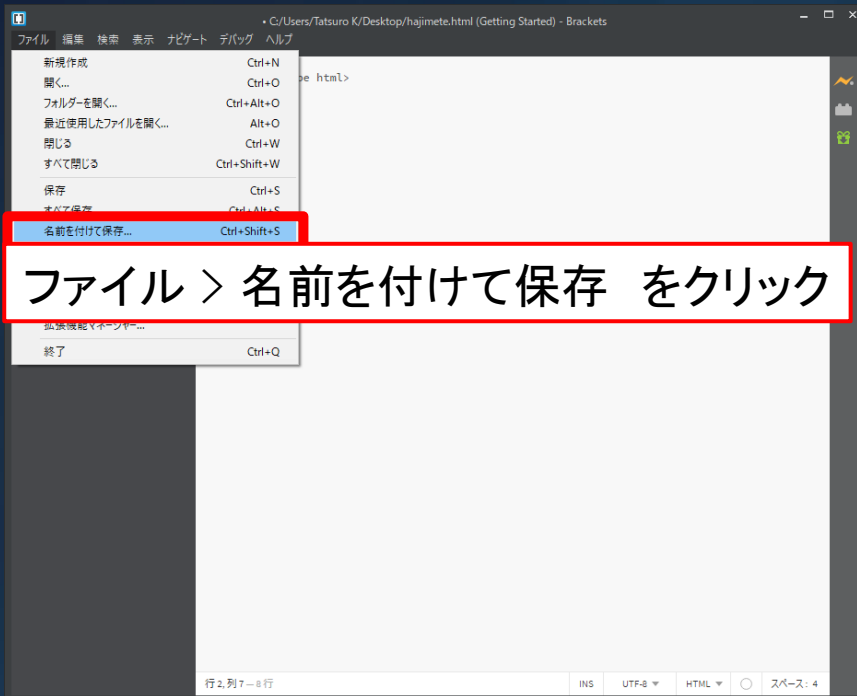
ファイル > 新規作成 をクリック



ここに文字を書き込む

次に、演習用のCSSファイルを作ろう

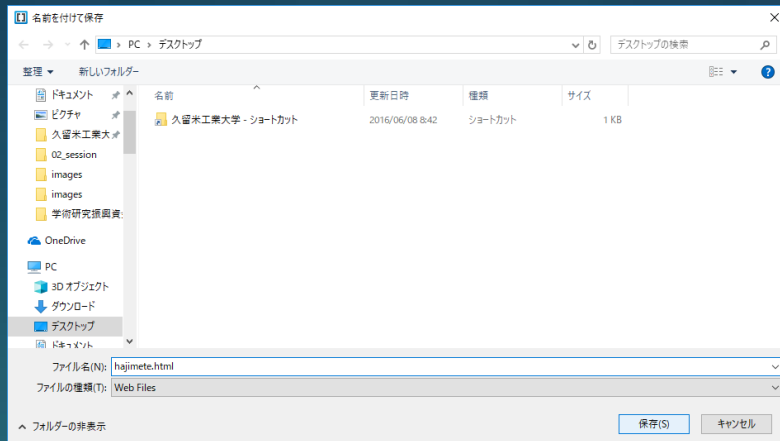
2. CSSファイルとして一度保存(これで候補表示などが働くように)



ファイル > 名前を付けて保存 をクリック



今回はデスクトップ > mySite > cssに
「enshu05.css」という名前で保存しよう



3. CSSだけを別ファイルで作成

- CSSだけを書いた別ファイル(.css)を作り、読み込む

1).cssファイルへの記述

.cssファイルには、CSS言語の書式で記述(2.のstyleタグの中と同じ形式)

```
p {  
    color:red;  
    font-weight : bold;  
}
```

3. CSSだけを別ファイルで作成

- CSSだけを書いた別ファイル(.css)を作り、読み込む

2).htmlファイルへの読み込みと適用

書式 (*headタグの内部に書く*) :

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="cssファイルの場所と名前">
```

例 (*先ほどのenshu03.cssを読み込む*) :

```
<link rel="stylesheet" type="text/css" href="css/enshu03.css">
```

この書き方は後の授業で詳しくやるが、これはcssフォルダの中のファイルを指定している

複数のタグ要素にスタイルを適用するCSS

- 「セレクトア{プロパティ、値}」のかたまりを縦に並べて書く

例 (pタグだけでなくh1タグも装飾) :

```
p {  
    color:red;  
    font-weight:bold;  
}  
  
h1 {  
    color:blue;  
    font-size:35px;  
    font-weight : bold;  
}
```